

2015年9月24日

## 第10回 揮発性有機化合物（VOC）の排出管理状況に関する フォローアップ調査結果

日本製紙連合会

日本製紙連合会の環境行動計画では、環境リスク問題への対応として「化学物質のリスク管理」を掲げている。これに関連して、揮発性有機化合物（VOC）の排出管理状況を確認するため、本年4月に2015年度フォローアップ調査を実施した。

従来はVOCのうち年間総排出量が多かった5物質（トルエン、メチルエチルケトン、酢酸エチル、イソプロピルアルコール及びメタノール）を排出管理の対象としていたが、2011年度調査からは排出する全てのVOCを対象としている。

### 1. 調査項目

調査対象：50社125工場（会員会社33社及び一部関連会社、未回答：1社1工場）  
調査年度：2000年度（基準年度）及び2004～2014年度  
調査項目：工場・事業所別の全てのVOCの使用量及び排出量

### 2. 調査結果

(1) 全国の排出について（結果を表1及び図1、2に示す）

2014年度の排出量の削減率は86.7%で、「2010年度の削減率と比較して悪化しないように努める」を達成した。

表1) 全国の年度別使用量及び排出量（対象：60物質）

(単位:トン)

		2000年度		2010年度		2013年度		2014年度	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
全国	合計	17,533	9,534	16,483	1,313	13,937	1,225	14,155	1,270
	削減率				86.2%		87.1%		86.7%

参考) 全国の年度別使用量及び排出量（対象：5物質）

(単位:トン)

		2000年度		2010年度		2013年度		2014年度	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
全国	合計	14,968	9,269	14,439	1,196	12,109	1,029	12,134	1,030
	削減率				87.1%		88.9%		88.9%

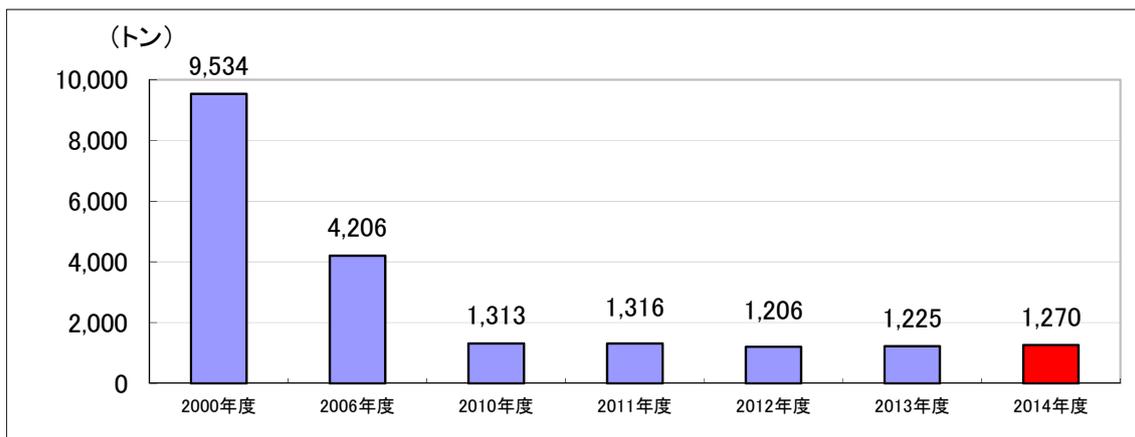


図 1) 全国の排出量推移

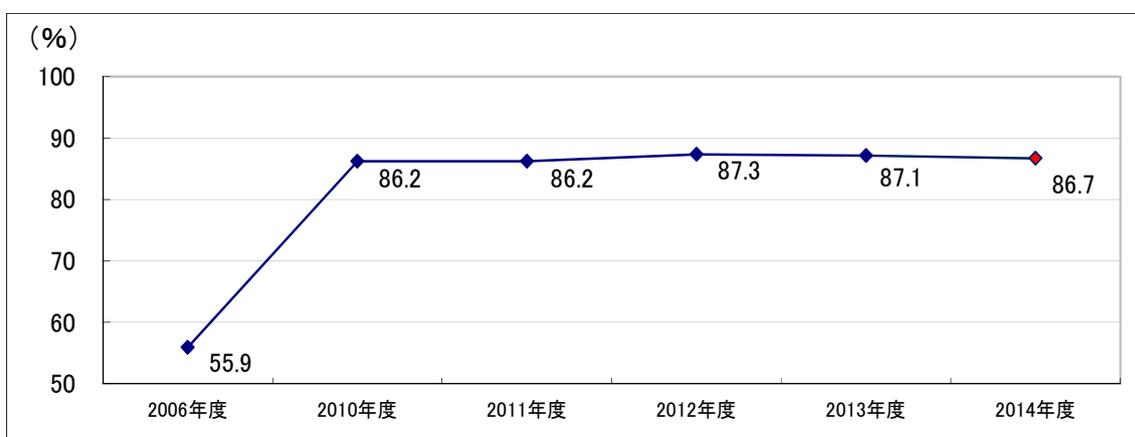


図 2) 全国の削減率推移

(2) 関東地区の排出について (結果を表 2 及び図 3、4 に示す)

指針では地域別参考指標として、可能な限り関東、中部、関西の 3 大地域の削減目標を求めている。当業界では中部、関西地区は対象事業所が少なく VOC 排出量もわずかなため、関東地区だけを参考指標として掲げ全国と併せて排出管理している。

2014 年度の排出量の削減率は 87.4% で、全国と同様に VOC 排出抑制の達成を確認した。

表 2) 関東地区の年度別使用量及び排出量 (対象: 60 物質)

(単位: トン)

		2000年度		2010年度		2013年度		2014年度	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
関東地区	合計	3,634	2,054	2,874	287	2,575	239	2,691	258
	削減率			86.0%		88.3%		87.4%	

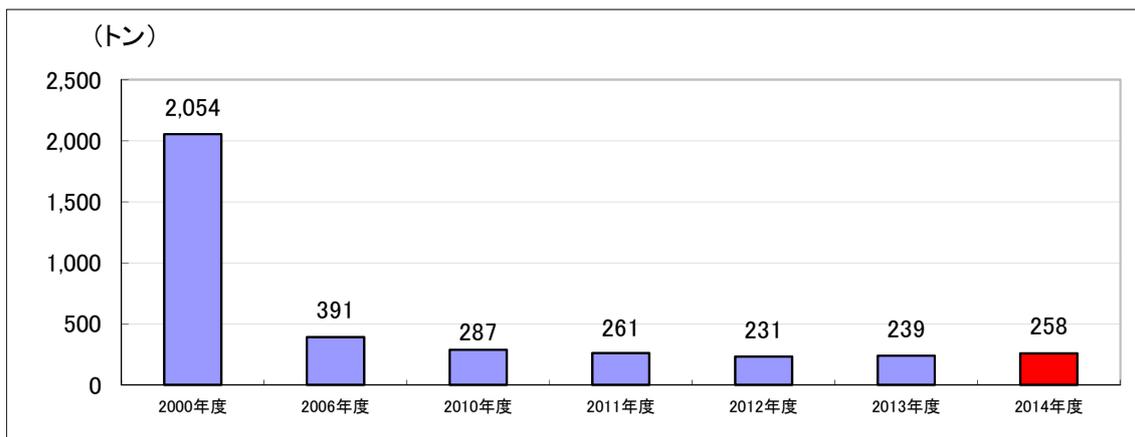


図 3) 関東地区の排出量推移

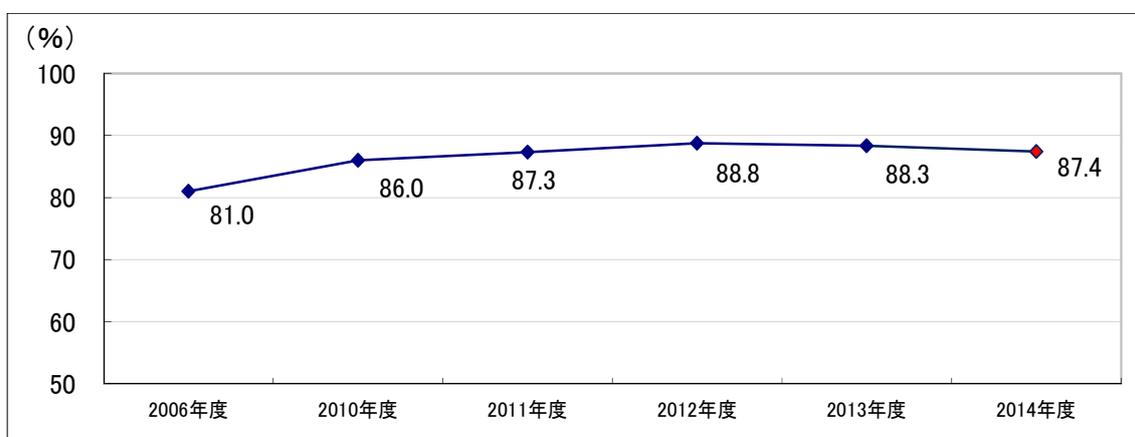


図 4) 関東地区の削減率推移

### 3. 2015年度以降の取組みについて

VOC 成分の少ない薬品への代替や製造工程の管理強化等により、引き続き全ての VOC の排出抑制に努め、削減率の維持を図る。

以上